

防災を考える日

～ テーマ「緊急地震速報で身の安全を確保する」～

内容

- 1 今月のテーマ
- 2 緊急地震速報とは
- 3 緊急地震速報を見聞きしたら
- 4 訓練で備える

"周囲の状況により具体的な行動は異なります。日ごろからいざというときの行動を考えておきましょう。まわりの人にも声をかけながら、あわてず、まず身の安全を確保しましょう"



今月のテーマ

「防災を考える日」の今月のテーマは、「緊急地震速報で身の安全を確保する」です。

緊急地震速報を見聞きした場合、あわてず身の安全を確保することが大切です。普段の生活の中で緊急地震速報を見聞きした場面を想定し、いざというときに適切な行動がとれるように、皆さんで話し合ってみましょう。

緊急地震速報とは

- ・地震発生場所に近い地震計で初期微動をキャッチし、強い揺れが始まる前にお知らせする情報です。
- ・最大震度5弱以上の揺れが予想される時に、震度4以上の揺れが予想される地域に発表されます。
- ・テレビやラジオ、携帯電話、スマートフォンなどでお知らせします。
- ・地震に近い場所では、緊急地震速報が間に合わないことがあります。緊急地震速報が鳴らなくても揺れを感じたら身を守りましょう。

緊急地震速報を見聞きしたら

- ・屋内では、頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。あわてず外へ飛び出さない。
- ・屋外ではブロック塀の倒壊、看板や割れたガラスの落下に注意する。
- ・鉄道やバスでは、つり革、手すりにしっかりつかまる。
- ・エレベーターでは最寄りの階に停止させてすぐに降りる。
- ・自動車運転中は、急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度を落とす。ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す。

訓練で備える

- ・短い時間であわてずに身を守るためには日ごろからの訓練が重要です。
- ・家庭、学校、職場などで、どう行動すれば良いか具体的にイメージしましょう。また、本当にその行動がとれるか実際に訓練して確認しましょう。

気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話番号:

0226-22-3402

FAX 番号:

0226-22-1467

電子メール:

kikikanri@kesenuma.miyagi.jp